

(12)公開特許(A)

(11)特許出願公開番号

(54)【発明の名称】車両用配線構造

特開平8-47144

(全7頁) (3)

審査請求 未請求 請求項の数 2

(43)公開日 平成8年(1996) 2月16日

(71) 出願人	スズキ株式会社 (静岡)	(51)Int.Cl. ⁶	識別記号	技術
(72) 発明者	松本 悦次, 山下 誠, 岩城 満	H02G 3/16	A	
		B60R 16/02	620	Z *
(21) 出願番号	特願平6-197582	FI		
(22) 出願日	平成6年(1994) 7月30日			
(74) 代理人	弁理士 萢 経夫 (外2名)			

(57)【要約】

【目的】 車両の配線ボックスに接続するハーネスの取付けスペースを確保し、他部品との干渉を回避する。

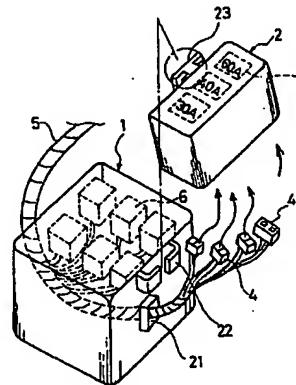
【構成】 車体の各種ボックス取付面にリレー6、ヒューズ7等の反転素子を収納したリレーボックス1およびヒューズボックス2を隣接させて設け、このうちリレーボックス1の対向する側壁にワイヤハーネス5が挿通する貫通孔21を形成する。この貫通孔21によりリレーボックス1の内部を挿通させたワイヤハーネス5をリレーボックス1に隣接させて配設したヒューズボックス2に接続する。これにより、ワイヤハーネス5を通すスペースをリレーボックス1の内部に確保することができ、ワイヤハーネス5とリレーボックス1の周囲にある他部品との干渉を避けることができる。

【産業上の利用分野】 本発明は、車両の電気配線ボックス等を接続する配線の引き回しに改良を加えた車両用配線構造に関するものである。

【特許請求の範囲】

【請求項1】 車体の各種ボックス取付面にリレーおよびヒューズ等の反転素子を収納した複数個のボックスを隣接させて配設し、該複数個のボックスの互いに隣接するボックスの少なくとも一方のボックスの側壁の一方または双方にハーネス挿通用の貫通孔を形成し、該貫通孔により一方のボックス内を通したハーネスを前記隣接する他方のボックスに接続したことを特徴とする車両用配線構造。

【請求項2】 リレーおよびヒューズ等の反転素子を収納した複数個のボックスを設け、該ボックス内の反転素子を繋ぐハーネスおよび前記複数個のボックスに繋がるハーネスを回路の流れ方向に沿うようにして車体に取付



けると共に、前記複数個のボックス間にダミー線を挿通させたことを特徴とする車両用配線構造。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の一実施例の示す斜視図である。

【図2】 図1のものを組付けたところを示す斜視図である。

【図3】 図2のもののA-A線に沿う断面図である。

【図4】 ワイヤハーネスの取り回しを示すエンジンルームの上面図である。

【図5】 本発明の他の実施例を示す斜視図である。

【図6】 図5のものの回路図である。

【図7】 従来のリレーボックスとメインヒューズボックスに別体式のワイヤハーネスを接続させるところの斜視図である。

【図8】 従来のリレーボックスとメインヒューズボックスに一体式のワイヤハーネスを接続させるところの斜視図である。

【図9】 従来のワイヤハーネスの取り回しを示すエンジンルームの上面図である。

【図10】従来の配線ボックスの斜視図である。

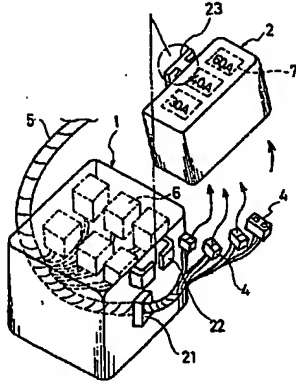
【図11】図10のものの回路図である。

【符号の説明】

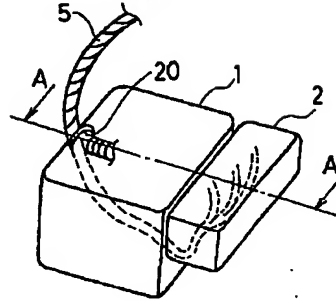
- 1 リレーボックス
- 2 メインヒューズボックス
- 5 ワイヤハーネス
- 6 リレー
- 7 メインヒューズ

- 14 リレー
- 15 ヒューズ
- 20 貫通孔
- 21 貫通孔
- 26 配線ボックス
- 27 配線ボックス
- 28 ダミー線

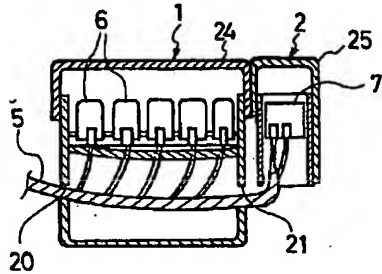
【図1】



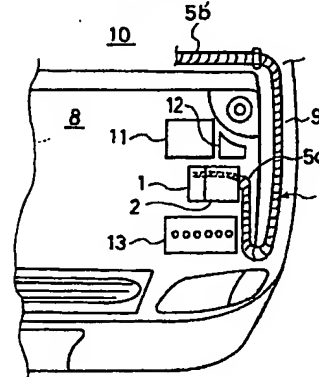
【図2】



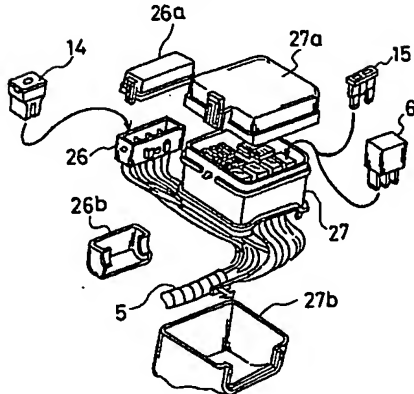
【図3】



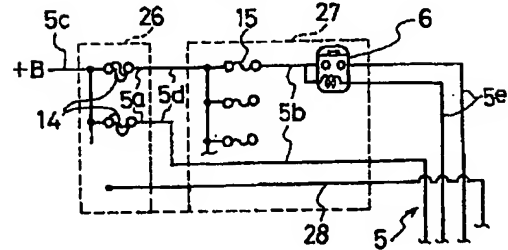
【図4】



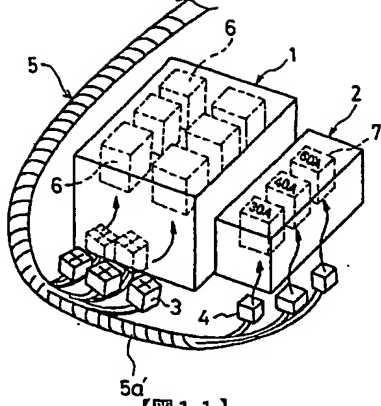
【図5】



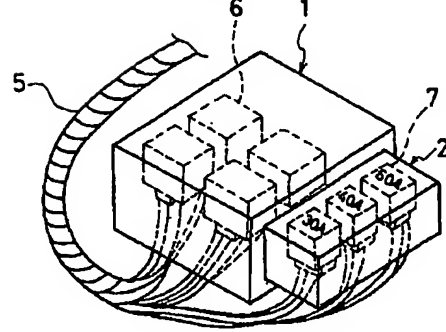
【図6】



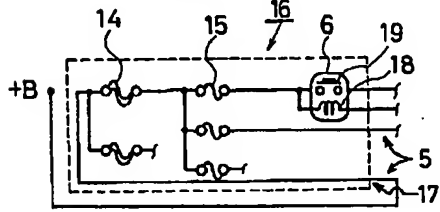
【図7】



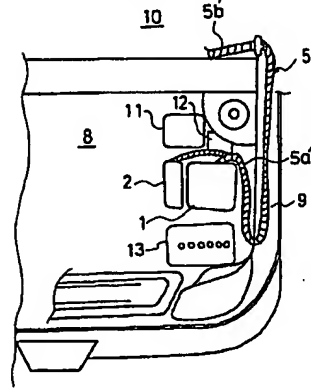
【図8】



【図11】



【図9】



【図10】

